

インドとの産業連携 (出張報告)

まつえ産業支援センター

山陰インド協会経済視察団 派遣概要

▶ 日程 令和5年10月23日(月)~29日(日)

▶ 場所 ニューデリー市 ナーグプル市
ケララ州・コチ市 トリヴァンドラム市

▶ 目的

インド・ケララ州とのコロナ禍後の経済連携推進に向けた協議・意見交換

I 環境・防災分野等でのビジネス展開

II Ruby・ITを生かしたビジネス連携

III その他産業分野等での連携

IV 産官学が一体となった人材受入

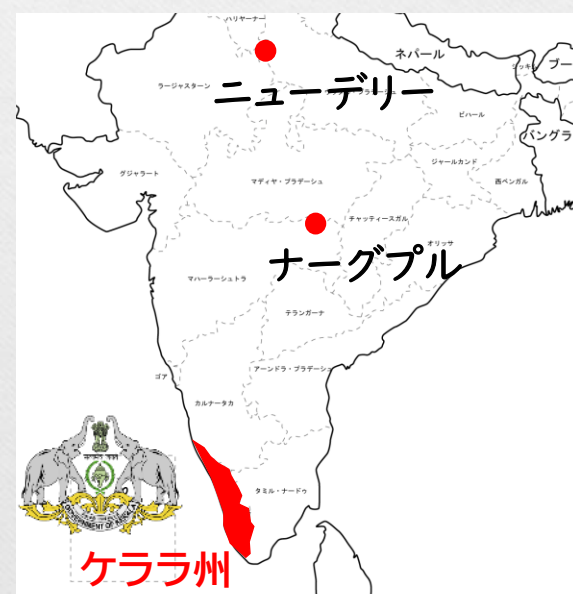
V 経済連携覚書(2015年締結)の巻き直し

▶ メンバー

松尾 山陰インド協会会長

上定市長(同協会顧問) ほか計18名

山陰インド協会として
4年ぶり8回目
松江市として
6年ぶり5回目
の訪印



山陰インド協会経済視察団 成果総括

成果

人材交流や産業連携の拡大に向けた相互協力の確認

- ▶ IT人材交流の強化、IT分野以外でも交流を拡大
- ▶ 環境(気候変動)・防災・食品・デジタル分野での連携強化
- ▶ 特に地方中小企業同士の連携に期待

成果

ケララ州政府・印日商工会議所ケララと圏域が締結した 経済交流覚書(2015年締結)の継続と今後の充実を確認

- ▶ ケララ州政府 ラジーヴ産業・法務・コイヤ大臣と会談(オンライン)
- ▶ 印日商工会議所ケララ(INJACK) ナヤル会長と会談、先方より2024年に来松・来圏の意向表明



マヒンドラ&マヒンドラ社ナーグプール工場



上定市長とナヤルINJACK会長



ケララ州ITパーク(トリヴァンドラム市)

松江市・圏域企業のインドでのビジネス展開に向けた意見交換(1)

■在インド日本国大使館(鈴木浩大使)

コメント

- ▶ 県境を越えた圏域市長会や山陰インド協会の取組みを高く評価。「日本で最もインドとの連携が進む地域」と太鼓判
- ▶ 「G20を機に外国の人材・企業の受入気運が高まっており、コロナ禍後のビジネス再稼働のチャンス」

早速

人材交流・中小企業進出に向けて、同大使館とのオンライン会議を予定



鈴木大使(前列右から3番目)

■ドリームインキュベータ インド(江藤宗彦社長)

※インドでスタートアップ投資などを行う日系企業

成果

- ▶ インド工科大学ハイデラバード校(島根大学海外協定校)との交流拡充に向けた窓口人材を紹介
- ▶ 松江市や圏域との人材交流・ビジネス連携に向けたネットワークを紹介

早速

島根大学と情報共有済。協議をスタート予定



江藤社長
(ドリームインキュベータ インド)

松江市・圏域企業のインドでのビジネス展開に向けた意見交換(2)

■ ジェトロ・ニューデリー (鈴木隆史所長)

コメント

- ▶ 「インドに進出する邦人企業のうち中小企業はまだ15% (※中国では過半)。日本の中小企業にチャンスあり」
- ▶ 「経済視察団派遣や学生・技術者などの人材交流から始めるのがよい」

早速

インドに関心を寄せる圏域内企業に対し、インド市場や日系企業の最新動向を情報共有



鈴木所長

■ Amit Kapoor (アミット・カプール) 氏

※ モディ首相の経済政策ブレーン

成果

- ▶ ビジネス連携先となる人的ネットワーク (政府関係者/経営者/研究者) の紹介
- ▶ ケララ州で期待できるビジネス連携分野 (IT・DX/医療/福祉/小売/サービス業) について助言



A.カプール氏

松江市・圏域企業のインドでのビジネス展開に向けた意見交換(3)

■マヒンドラ&マヒンドラ(海外展開担当役員、人事担当役員)

成果

- ▶ 三菱マヒンドラ農機との連携の維持・強化を確認
- ▶ 人事担当役員より、マヒンドラ社員10人を三菱マヒンドラ農機へ派遣するとの発表。今後も継続的に派遣の意向

早速

11月8日に10人来松・受入済



マヒンドラ社での意見交換

■印日商工会議所ケララ(INJACK:ナヤル会長)

コメント

- ▶ 圏域が強みを持つ、環境(気候変動)・防災・食品・デジタル分野における相互連携の強化意向を伝達し了解

成果

- ▶ INJACKとして、2024年来松・来圏する意向を表明(ビジネス連携の加速を期待)
- ▶ 「医療」「食品」「リラクゼーション」の分野でビジネスマッチングにかかるニーズ表明

早速

商談に着手済



ナヤル会長・INJACKメンバーと意見交換

松江市・圏域企業のインドでのビジネス展開に向けた意見交換(4)

■ケララ州政府(ラジーヴ産業・法務・コイヤ大臣)

成果

- ▶ 2015年経済交流覚書(※)に基づく、相互連携の継続、今後の充実・強化について確認・了解

(※)「中海・宍道湖・大山圏域市長会」×「ケララ州政府」
「中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会」×「印日商工会議所」

- ▶ 覚書締結から10周年を迎える2025年に向けて、具体的な連携案件の実現を企図し、圏域が強みを持つ、環境(気候変動)・防災・食品・デジタル分野における連携の強化意向を伝達・了解



ナヤル会長の機転でラジーヴ大臣と急遽オンライン会談を実施

松江市・圏域企業のインドでのビジネス展開に向けた意見交換(5)

■ASAケララ(ゴパクマール会長)

※海外人材育成プログラムにより来日したケララ州出身者の同窓会組織。圏域市長会によるインドIT人材受入事業のインド側窓口

成果

- ▶ IT人材受入事業の拡大について合意
- ▶ IT以外の理系人材の受入に向けた協議開始を打診・了解



ゴパクマール会長



早速

IT分野以外への受入拡大に向けた協議スタート
インドに関心を寄せる圏域内企業に対し、インド市場や日系企業の最新動向を情報共有

■ITパーク(ケララ州トリバヴァンドラム市)

コメント

- ▶ ITパークへの進出企業は欧米中心。日本企業は限定的だが、今後の進出に期待感
- ▶ インド企業との連携が、中東・アフリカ市場への進出につながる可能性

成果

- ▶ INJACKに所属するエクスペリオン社を訪問。インドのITエンジニアによるシステム開発委託ニーズに対応

早速

圏域市長会によるIT人材受入事業拡大に向けた協議開始



エクスペリオン社
デービス社長



エコシステムにかかるプレゼン

インドとの産業連携を進めてまいります

